

平成27年度

「運営に関する計画」

大阪市立大和川中学校

大阪市立大和川中学校 平成 27 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【視点 学力向上】全国学力状況調査の「学校の規則を守っていますか」の項目で「当てはまる」(どちらかといえば当てはまる)を 95%以上にする。を中期目標とした。26 年度は、80.7%であった。しかし、数年前には生徒の規範意識の低下による学校秩序が崩れたことがあった。今一度、授業の成立を基本に、自ら学ぶ姿勢を育成することが重要課題である。

【視点 道徳心 社会性の育成】道徳の授業を要として、人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。全国・学力状況調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目で「当てはまる」昨年度より 5 ポイント増加させる。26 年度は「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」で 87.2%であった。(全国: 94%)

【視点 健康・体力の保持増進】体力調査においては、男子は大阪市平均に僅差の数値になってきた。女子は昨年度生徒比較では体力合計で 6 P 上昇している。今年度は、すべての項目において大阪市を上回る取り組みを推進する。

【視点 学校・家庭・地域の連携の推進】第 2 回大和川地域音楽フェスティバルを開催(12 月 22 日)山之内小学校、遠里小野小学校、建国中高等学校、浪速中高等学校、府立視覚特別支援学校の音楽関係の部活動等が本校に集まり開催されました。地域連合町会やゆうけい特別養護老人ホーム、保育所など多くの団体と連携し、300 名を超える地域の参加がありました。今後、地域防災教育と連動し、地域の方と中学生の交流の場を拡大する取り組みへ発展させることが課題である。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力向上】漢字検定を 1、2 年生全員に実施する。課題学習の提示、定着を図る。

【視点 道徳心 社会性の育成】規範意識の向上と集団づくりの充実。道徳教育の進化・充実。(大阪市中学校「頑張る先生」で発表 11 月)

【視点 健康・体力の保持増進】体力調査における各項目の大阪市を上回る取り組みに充実。

【視点 学校・家庭・地域の連携の推進】第 3 回大和川地域音楽フェスティバルの開催を通して、地域防災教育への連動する地域連携組織づくりへ発展させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式例 2)

大阪市立大和川中学校 平成 27 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学力向上】 ○ チャレンジテスト (1, 2 年生) における正答率を大阪市平均に近づける (カリキュラム改革関連) ○ 学校教職員アンケート調査で「発表や話し合いのなどを取り入れた授業を積極的に行っている」よくあてはまる、おおむねあてはまるを、前年度より向上させる。 【26 年度 53%】 (マネジメント改革関連) ○ 全国・学力学習状況調査の「学校の授業以外の時間に家庭で全くしない (塾含む)」が 18 ポイント。(全国より 8 ポイント高い) 全国平均に近づける。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【習熟度別少人数授業の実施】 国語・数学・英語の 3 教科では、授業内容、授業形態の工夫を含め、きめ細かな指導により、個に応じた学習指導を行う。定期テスト、実力テストで「知識理解、思考力、判断力、表現力など基盤となる評価項目に沿って問題を作成する。国語科では、漢字検定 (1, 2 年) を実施し、学習意欲の向上を図る。 指標 定期テスト等による系統立てた学力分析。 全国・学力学習状況調査プレ実施。 各教科の学習定着度の通過表などを通じて、学力実態の分析を行う。 朝学習の時間帯の有効活用 (生徒集団の質向上) 1, 2 年生 漢字検定 全員受験の取組実施 (校長戦略予算)	
取組内容②【授業力向上のための研究授業及び教員相互参観の充実】 ・教員相互による授業方法を交流し、「発問の仕方」「学習規律」「課題の設定」など教師力の向上を図る。研究協議の充実を図り、明日につながる授業づくりに生かし、生徒へ「わかる授業づくり、魅力ある授業」を提供する。 指標 アドバイスシートによる全教員相互参観 年 2 回実施。 研究授業および研究協議 年 3 回 (6 名) 大阪市「頑張る先生」(道徳) 発表 授業アンケート「授業がよくわかる 70% 以上」 教職員アンケート「発表や話し合いのなどを取り入れた授業を積極的に行っている」60% 以上。授業参観保護者アンケート参考	
取組内容③【定期的な宿題提示及び自学自習の確立への取組】 家庭学習習慣定着のための、各教科による日々の宿題の提示。週末には、課題学習の提	

示および点検。学習習慣の定着をめざす。学校元気アップ地域本部事業による自学自習力確立への手だて提示する。	
指標 日々、宿題 やりきり生徒数 100% (各教科担当等) 週末課題 やりきり生徒数 100% (各教科担当等) 朝学習会の時間帯が生徒の手で運営できるようにする。学級集団づくり学習意欲づくり長期休業中の課題設定 (各教科等) 及び学年別補充学習会の実施。 <u>元気アップ地域本部事業 (充実)</u> 全校生徒の3割参加 (130名) ・ 定期テスト前 放課後学習会 5回実施 1回 5日間 ・ 夏期・冬期 3年生 学力アップ集中講座 計10日間 実施 ・ 放課後学習会 2学期より実施 3年生 ・ 英語検定、希望者への学習会実施 (10日間) 家庭・地域への啓発 (学校・学年だより等) 年10回	
取組内容④【 小中一貫教育の推進】 9年間を通して、めざす子ども像「場の応じたあいさつがしっかりできる児童・生徒を育てる」を目標に、教育内容を充実させる。 指標 連携行事 (中1情報交換、体験学習、部活動体験学習) 実施 体育大会 小学校6年生対象の体育大会見学実施 教職員研修 (道徳、人権、英語、ピア・サポート研修等) 2回 教員相互授業参観の実施 3回 定例の校長部会 教頭部会 職員部会の開催 年8回	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標	達成 状況
【視点 道徳心・社会性の育成】 ○ 道徳の授業を要として、人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。全国・学力状況調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を93%以上にする。（全国と同じ）〔27年度〕 （カリキュラム改革関連） ○ 生徒自らが学校のルールを守る姿勢を身につけ、目的意識をしっかりとった教育活動を推進する。全国・学力状況調査の「学校の規則を守っていますか」の項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」を95%以上にする（〔26年度〕） （カリキュラム改革関連） ○ 社会的・職業的自立に向けて、発達段階に応じて体系的・系統的なキャリア教育に取り組む。 （カリキュラム改革関連）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【 道徳教育の推進 】 道徳教育委員会を中心に年間指導計画・読みのも教材指導案を作成する。 生徒一人ひとりに、「自分の生き方を見つめ直し、これからの生き方にどういかしていくか」という課題設定で実践を行う。 指標 全市教育研究発表会（道徳）発表 道徳授業（読みのも教材活用 各学年 20 本の実践、合計 60 本） 土曜参観で道徳の公開授業実施（11 月、12 月） 校内道徳研修会 4 回実施 校内自主道徳研修会 5 回実施 道徳通信を 1 か月に 1 回 発行する。（保護者・地域啓発）	
取組内容②【 規範意識の向上 】 ・「言葉づかいは心づかい」「元気よく・気持ちよく、あいさつしよう」の実践。身だしなみを整え、生徒自らに『時間を守る』姿勢を身につけさせる。 ・体罰根絶への指導体制を確立させ、生徒理解を深める研修会および相談活動の実施 指標 登校遅刻ゼロの達成 チャイム着席の定着 正しい服装の着こなしの徹底 生徒会中心による「学校生活充実のための討論会」の実施 生徒理解を深める 「生徒指導研修会」実施 5 月 生徒理解を深める 「教育相談活動」年 2 回 随時 体罰ゼロの教育活動を推進する	
取組内容③【 キャリア教育の推進 】 キャリア教育年間計画に沿って、系統立てた教育内容を推進する。	

指標 進路講話（3年）職業について（2年）仕事しらべ等（1年）実施	
取組内容④【 防災教育の推進 】 「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。	
指標 火災、震災訓練の実施。地域別下校訓練。消防署による防災訓練（2年生）地域防災訓練へ参加。	
取組内容⑤【 不登校傾向生徒への対応 】 ・生徒の状況把握を図り、全教職員で共通理解し、個別の具体的な手立てを講じる日常的にカウンセリングを行い、生徒の心の変化を早期に把握する ・生徒指導担当者を活用した、心のケアが必要な生徒への別室対応の充実	
指標 週1回 不登校傾向生徒の状況把握。改善方針の確認 月1回 全教職員と状況把握 カウンセリング週間の実施（年2回） 心のケアが必要な生徒の学校生活保障。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標	達成 状況
【視点 健康・体力の保持増進】 ○ 28年度には、基礎体力の向上を目指し、全国体力・運動能力、運動習慣調査の各種目の結果を大阪市平均以上にする。 (カリキュラム改革関連) ○ 全国・学力状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目で毎日食べているを85%以上にする。(5%上昇させる[26年度]) (カリキュラム改革関連) ○ 子どもの発達段階に応じて、健康に関する正しい知識等が身につくように取り組む (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【 体力向上の推進 】 基礎体力の向上を目指し、全国体力・運動能力、運動習慣調査では、体力合計点を大阪市平均に近づける。(2ポイント)特に「長座体前屈」「上体起こし」「立ち幅とび」を重点項目にする。 指標 「長座体前屈」「上体起こし」「立ち幅とび」「立ち幅とび」の項目を昨年度より2ポイント増加。(大阪市平均を上回る)	
取組内容②【 食育の推進 】 食に関する知識と食習慣を身につけるための教育活動を進める 指標 食育通信の発行 10回 小中連携した食育推進連絡を行う(年3回) 長期休業中 食育調査を行う(2回)	
取組内容③【 健康に関する指導の推進 】 発達段階に応じた健康に関する指導を系統的に行う。 指標 学級活動、保健体育 総合の時間を活用して、薬物 飲酒、喫煙に関する 学習会を行う (全学年 3回)〔外部指導者を含む〕	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標	達成 状況
【視点 学校・家庭・地域の連携の推進】 「地域まるごと なかよしプロジェクト」継続。 大和川中学校、遠里小野小学校、山之内小学校、建国中高等学校、浪速中高等学校、府立視覚特別支援学校、ゆうけい（特別養護施設）を含む関連組織（はぐくみネット、学校元気アップ、連合町会）と連携し、音楽、防災を中心に「地域教育コミュニティ」を推進し、音楽行事を年１回、地域拡大防災訓練を年１回行う。（マネジメン ト改革関連）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【地域防災訓練・大和川清掃への生徒参加】 防災教育の一環として、地域防災訓練に参加する。大和川清掃活動を通して、地域と郷土を愛する心を育てる。 指標 各連合町会主催 防災訓練に生徒 １００名参加させる 地域大和川清掃 ４回 実施する	
取組内容②【地域音楽祭の開催】 大和川中学校、遠里小野小学校、山之内小学校、建国中高等学校、浪速中高等学校、府立視覚特別支援学校、ゆうけい（特別養護施設）を含む関連組織と連携会議を開催する。 指標 各校、組織の音楽関係（吹奏楽部）の部等による音楽祭を開催する。地域参加者 500名予定（１月）	
取組内容③【学校・地域連携組織の確立】 地域関連行事を把握し、組織的に教職員、生徒の参加を行い、地域連携を進める。 指標 年間 地域行事に１０回参加する（教職員、生徒） （敬老大会、夏祭、地域運動会、防災訓練、クリスマス会等）	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	